

県職連 人事委員との意見交換

日曜日にパラリンピックが閉会しましたが、先月開催されたオリンピックに向けては、統括責任者が次々に退任するという不祥事がありました。原因は、女性蔑視、容姿侮辱、「いじめ」発言、ホロコースト揶揄です。国際的な祭典を作る立場でありながら、国際標準から著しく逸脱した「人権感覚の欠如」があったということです。

先進国の中で賃金が低下しているのは日本だけだと言われますが、このような人権感覚の欠如がリーダー層に存在することと、全く無関係であるとは言えないでしょう。

今年度の要求書の内容も、結局は人権が尊重されているか、つまり「人が人として大切にされているかどうか」ということに行き着くと思います。

一つ一つの項目の具体例を挙げて行けばキリがありませんが、例えば1の(8)の手当の問題です。新型コロナで十分な活動ができないとはいえ、高校の部活動では、試合のための遠征や登山などは、とても3時間で業務を終えることはできません。しかし、手当は3時間までしか出なくなりました。また、審判員は自校の生徒を直接指導しないため「手当が全く出ない」という実態があります。働いてもそれに見合う賃金が出ない。これで、人が人として大切にされていると言えるでしょうか。

また、3に関わる労働時間短縮と業務見直しの問題です。GIGAスクール構想や新型コロナ対応もあり、相変わらず、多忙化長時間労働は解消されない上に、アメリカの人類学者デヴィッド・グレーバーのいうブルシット・ジョブならぬ、ブルシット・タスクとでも言っていいような、どうでもいい仕事をさせられている実態があります。内容ではなく、形の整った書類を作るために、時に夜10時、11時まで残って仕事をする教頭がいます。そしてチェックした文書を、一つ一つ職員に直させます。また、ある事務長は年度の最初の会議で、書類の日付の後は空白を必ず1つ空けるなど、細かい指示を出した挙句、「こういう書類を作ると、この学校から出る書類は綺麗だと褒められます」と言い放ちました。いったい、誰が褒められるのでしょうか。また、誰がそんなことを褒めるのでしょうか。そして、褒められるとどんないいことがあるのでしょうか。それは生徒のためになるのでしょうか。でも、その通りにしないと付箋がつけられて、書き直しをさせられます。教師は生徒を育てたいと思って教師になったのであり、誰かが褒められるための綺麗な書類を作りたいと思って教師になったものではありません。こんな、教師としての尊厳が著しく損なわれる状態で、人が人として大切にされていると言えるでしょうか。

そして、管理職である教頭も、校長からの圧力で仕方なくそのような仕事をさせられていることもあり、ある人はそれで円形脱毛症になりました。入院した人もいます。しかし、その圧力をかける校長自身が、教務主任、教頭時代にひどい長時間労働をさせられ、パワハラも受けていたのです。けれども人事評価の評価者である校長には何も言えないで我慢するのです。一般職員に対するパワハラ、セクハラも相変わらずです。勤務時間記録を変更するよう圧力をかけられ、勝手に変更された職員もいました。去年新聞でも報道されましたが、氷山の一角です。生徒の前で、大声で罵声を浴びせられた職員もいます。病休で通院先に産婦人科と書いて「子供ができねんかい」と言われた女性職員もいます。実際にこういうことが発生しても、それを解決するシステムはないのです。これで、人が人として大切にされていると言えるでしょうか。

今述べたのは、ほんの一部です。

人事委員会の皆さんには、このような現場の実態を理解していただき、どこに出しても、誰に見られても恥ずかしくないような、そして、働く者が尊厳を持って、安心して、生き生きと仕事に励めるような職場が一刻も早く実現できるよう、実効ある勧告を出していただきたいと思います。

よろしく願いいたします。